



募集概要

日能研サマーキャンプ2017は5泊6日で実施いたします。

	日程	定員	会場	集合・解散	参加費用(消費税込み)
第1回	8/5(土)~8/10(木)	30名	岩手県山形村	JR上野駅中央改札	¥62,640※
第2回	8/14(月)~8/19(土)	40名	福島県裏磐梯	JR上野駅公園口	¥69,660(バス代込み)

※岩手県山形村会場は交通費が含まれておりません。現地集合の方以外は別途新幹線料金が必要になります。昨年度は15,060円でした。(団体席斡旋致します)

募集対象 小学3・4年生

3年生はどなたでもご参加いただけます。
4年生は日能研生優先ですがご希望の方はご相談ください。

申込方法 5月24日(水)よりお近くの日能研各校にてお申し込みください。

お申し込みの際に参加費用の振込用紙をお渡しいたしますので、
5日以内に指定の口座へお振込ください。

【参加キャンセルについて】
お申し込み後、お客様のご都合で参加を取り消される場合は参加費用に対してお一人様につき、次に定める取消料と事務手数料500円(税込)を頂きます。
取消料が
●20日前~8日前の18時まで=20%
●7日~2日前の18時まで=30%
●前日の18時まで=40%
●当日(旅行開始前)=50%
●旅行開始後および無連絡不参加=100%
※上記期間外でのキャンセルの場合は、事務手数料のみを頂きます。

保護者説明会

日能研サマーキャンプ2017の
保護者説明会を下記の要領で開催します。

キャンプに申し込まれた方はぜひ、ご参加ください。
また、参加希望、あるいはご興味や関心をお持ちの方ならどなたでもご参加いただけます。
当日はキャンププログラムの詳細、持ち物、宿泊設備、交通手段についての詳しい説明を行います。

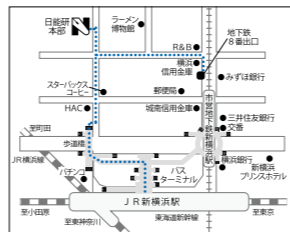
東京会場

日時 6月14日(水)
午前10:00~12:00
会場 日能研西日暮里校
JR・東京メトロ西日暮里駅より徒歩5分



横浜会場

日時 6月10日(土)
午前10:00~12:00
会場 日能研本部(新横浜)
JR新横浜駅より徒歩8分
市営地下鉄新横浜駅8番出口より徒歩4分



安全対策

日能研サマーキャンプでは、安全に野外活動を展開するために、事前の事故防止対策と事故発生時を想定した万全の救急対策を施しています。

●安全教育

「生命は自らが守っていくもので、自ら守りつつ互いに協力してこそ安全は成り立つ」ということを、体験とふり返りを通して考え続けます。

●安全管理

活動エリアや地形の把握、輸送・搬送ルートの確認、所要時間の計測など、実地踏査を行います。また、個人装備、団体装備の確認、使用法の徹底。加えて、万一の緊急事態への対応、事前オリエンテーション、利用施設の点検確認を始め、スタッフ教育を含めた組織・体制づくりに万全を期しています。スタッフは学生も含め、全員応急手当ての有資格者です。

●健康管理

参加者の事前健康調査を実施し、常に表情や動き、食欲、睡眠などから健康度を観察し、フィジカル面だけでなく、「心の安全」への配慮も怠りません。「人それぞれの価値観は異なって当然。多様だからこそ、人はつながって生きている。あるがままを受け入れよう」という価値の多様性を念頭においた姿勢で子ども達と接していきます。

Q&A

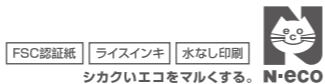
Q:食物アレルギーの配慮はしてもらえますか?
A:はい、いたします。参加前に配布する「健康事前調査カード」にアレルギー情報等を詳しく記入してください。ただし、岩手県山形村キャンプでは、例えば特産品の「そば」など、変更できないものがございますので、ご了承ください。

Q:食事は自炊ですか?
A:基本的に食事は、食事スタッフが用意します。遠征時は簡単な自炊をすることがあります。

Q:活動はグループ単位で行うということですが、グループはどのようにして分けるのですか?
A:グループは「アイスブレイキング・ゲーム」で分ける予定です。これは偶発性を狙ってのことですが、縦割りになるように配慮します。また、必然的に男女混合となりますが、就寝時は男女別のキャンピングとなります。より多くの出会いの中で、今までの人間関係のあり方を見つめ直すとともに、多種多様な価値観に触れる機会を数多くつくりたいと考えます。

Q:持ち物や装備はどのようにになりますか?
A:詳細に関しては、参加お申し込み後にお渡しする資料をご覧ください。ここでは絶対に必要なものだけをリストアップしておきます。
雨具(上下セパレートタイプのレインウェア)、帽子、長袖&長ズボン、アウトドア向きの靴(ひも靴。靴底がある程度の堅さがあるもの。テニスシューズやバスケットシューズは不向きです。汚れてもいいもの)、着替え、常備薬、保険証のコピーなど。

Q:このキャンプでは勉強のプログラムが入っているのでしょうか?
A:勉強合宿とは違い、机に向かっての勉強は行いません。自然にふれ、仲間と向き合い、体験を通じて学んでいきます。



自分を育てる、6日間アドベンチャー。



日能研サマーキャンプ 2017

第1回 8/5(土)~8/10(木) 30名 岩手県山形村会場
第2回 8/14(月)~8/19(土) 40名 福島県裏磐梯会場

募集対象 小学3・4年生(4年生は日能研生優先)

キャンプの詳細は
日能研本部(045-473-2311)または日能研各校までお問い合わせください。
日能研各校のご案内はwww.nichinoken.co.jpでご確認ください。

2017年 5月24日 受付開始

主催:体験学習研究会 共催:日能研



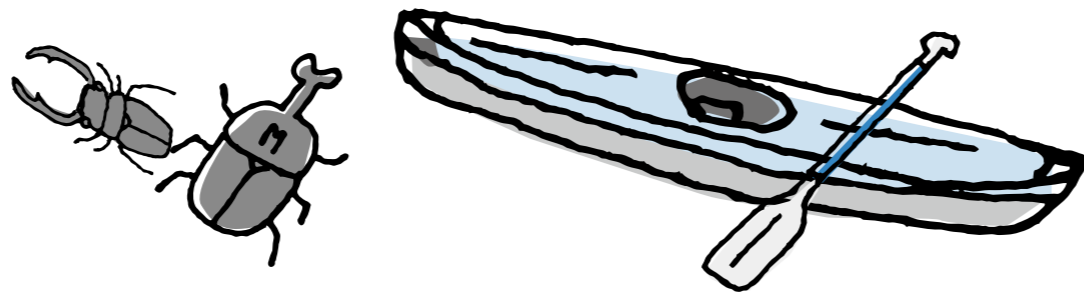
アドベンチャー教育で育む未来をつくるチカラ。

自分で決められない子どもが増えている。現在の子ども達を取りまく環境は、快適で、何でもそろった便利なものです。自分が決めなくても、誰か(たいていは大人)が決めてくれる。そんな状況が多く存在しています。日能研は、中学進学を志す子ども達と共にいます。子どもの学びを真ん中において、子ども達が自ら“未来をつくるチカラ”を育ててくれることを願っています。それは中学受験が、機械的な問題処理能力ではなく、“未来をつくるチカラ”を問うものに他ならないからです。“未来をつくるチカラ”——そこには、自分で考え、自分で判断し、自分の意志で行動を起こすチカラ=自己決定力も含まれます。ところが、現在の子ども達の多くは、自己決定力を高めにくい環境にあります。日能研は普段からこのような状況を踏まえて、子ども達と向き合っていますが、もっと他にできることはないかと、いつも問い続け、考え続けています。その答えのひとつが“キャンプ”です。豊かな自然に恵まれたキャンプ場で繰り広げられる、ちょっと長めのアウトドアライフ。日常生活では出会えない、さまざまなアドベンチャー体験に向き合い、仲間との協働でこれに臨むことで、積極的に、肯定的に「自己」と向き合うきっかけをつくっていきます。自然の中で正解はひとつではなく、模範解答もありません。一瞬一瞬に判断が求められる中で、自分で決めて行動すること。多様な仲間と共に居続け、話し合い決めていくこと。仲間とのやり取りをその都度ふり返りながら未知に進んでいくこと。日能研がプロデュースするキャンプでは、〈アドベンチャー教育〉と〈体験的学び〉をベースにした、自己決定力を育むプログラムを数多く用意しています。



未知の世界へ踏み出す勇気を。

未知。不慣れ。予測が難しい。リスクがある。精神的に不安。ハラハラドキドキ。結果が保証されていない。成功するか失敗するかわからない。そんな状態を体験することが“アドベンチャー”です。その反対はC(Comfort)ゾーン。知っていること。安全であること。安心できる。快適。予測もつき、対応できる。うまくいくことがわかっている。このCゾーンから踏み出すときに最も大切なのが、“自己決定”です。大切なのは誰かに言われてやるのではなく、自分で考え、自分で判断し、自分の意志でCゾーンから出ること。日能研キャンプでは、アドベンチャー体験を通して、子ども達が未来へ踏み出すチカラを育む機会にあふれるキャンプです。



自然生活のスペシャリスト・スタッフが、しっかりとサポートします。

5泊6日というスケジュールで長期間、親と別々になるのは初めて、という子ども達も少なくはありません。そんな子ども達の精神的な不安も含めて、キャンプ生活をサポートしてくれるのが、専門的なトレーニングを受けた野外教育スタッフたちです。心と体の安全を確保しながら、子ども達のさまざまなチャレンジを手助けしてくれます。

第1回

あまちゃんの郷 スローライフ・スローフード 岩手県山形村※ 内間木キャンプ場

山形村は人口3000人、北緯40度にある小さな村。総面積の95%がなだらかな山地で、その山並みには20万本の白樺林、ブナの原生林などの広葉樹林帯、牛のための放牧地などが連なり、美しい山里の景観をつくっています。特産は短角牛、雨よけホーレン草、木炭、椎茸。山里独特の生活文化と本物の自然を持つ山形村は、まさにアクティビティの場にふさわしい環境です。さらに自然体験、生活体験の豊富なステージも揃っており、村全体がスローライフ・スローフードそして体験的な学びの宝庫となっています。

特長・主なアクティビティ

スローライフ・スローフード、沢登り、洞窟探検、山歩き、カヌー&カヤック

開催地

内間木キャンプ場

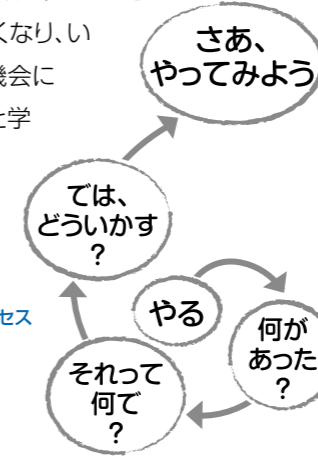
〒028-8712 岩手県久慈市山形町小国16-100-15
Tel & Fax 0194-75-2070 (緊急時のみ)

※現在は市町村合併で「山形町」になっていますが、役場と協議の上「山形村」を使っています。

体験を学びに。

体験と学びをつなぐのが、〈ふり返り〉です。体験をふり返り、「何が起こったのか?」「なぜ、そうなったのか?」を考えて、自分の言葉にします。そして、次の体験に向かう「次、どう活かす?」をつくります。このサイクルを使って、子ども達は体験を学びへとつなげていきます。アドベンチャー体験の中で、うまくいかないこと、失敗はたくさんあります。そんなときこそ、学びのチャンス。チャレンジをあきらめずに続けることで、失敗は失敗でなくなり、いつか成功へとたどり着くはず。体験的学びの機会にあふれた日能研キャンプで、子ども達は〈体験と学びをつなぐ実践者〉へと成長していきます。

ふり返りのプロセス



あたりまえを見直す「学び家」への一歩

便利で、快適で、これほど豊かな時代に生きている私たちは、いま身の回りにある生活環境に対して、疑いを抱くということがほとんどありません。しかし、そのような生活の中では得られないものがあり、そこに子ども達の意識を決定づける重要なものが含まれていることも事実です。親と子どももお互いが離れなければならないの時間を過ごす——子ども達は“自分で生活する”体験を通して、日能研が掲げる〈学び家〉になるための、たくさんヒントを得ることができるチャンス。“中学進学”、それ以前にある“中学受験”という挑戦、大人になってからもずっと続いていくであろう“学び”——その主人公は、つねに自分自身なのです。

第2回

大自然に包まれた湖畔のキャンプ場 福島県裏磐梯 小野川湖レイクショア野外活動センター

小野川湖は磐梯朝日国立公園に位置し、ダイナミックな自然が色濃く残る、個性的で美しい景観をそなえた湖です。その周囲は湿地帯、岩石帯、草原地帯など変化に富み、多種多様な動植物の生息地でもあります。このような自然環境を有した小野川湖畔に、20数年前、教育活動専用キャンプ場としてオープンしたのが「小野川湖レイクショア野外活動センター」。このキャンプ場は、民間では数少ない(社)日本キャンプ協会「優良キャンプ場」の認定を受けています。

特長・主なアクティビティ

カヌー&カヤック、沢登り、遠征ビバーク、アドベンチャープログラム

開催地

小野川湖レイクショア野外活動センター

(教育活動専用キャンプ場)
〒969-2701 福島県耶麻郡北塩原村大字松原字小野川湖畔
Phone & Fax 0241-32-2044 (緊急時のみ)

快適で便利な日常とは、
ぜんぜん違う生活が
待っています。
自然の中で、思いっきり
楽しんで、びっくりして、
たくましくなってください。

